

平成19年度第2回幹事会議事録

記録者：稲葉

日時：平成19年9月21日（金）15:00～17:00

場所：興和ビル 10階 第4会議室

出席者：早川，古川，佐藤，平出，川瀬，廣川，野崎，瀬戸，川太，渡邊，渡部（哲），大曾根，稲葉（計13名）

1．現地検討会の準備・運営（別紙資料1，2参照）

各グループの責任者から，これまでの準備状況について報告があり，以下のことが確認された。

現地見学（瀬戸幹事）

野崎，平出，廣川の3名の幹事は，長岡駅に9:30に集合する。長岡駅からの参加者をニューオータニ向かいのバス待合室（昨年と同じ場所）へ誘導する。バスは1号車とし，この1号車のみ帰路は長岡駅を経由してリリックホールへ向かう。

リリックホールの駐車場30台分を確保したが，まとまって駐車するように瀬戸幹事が誘導する。

進入の現地は道が狭く，バスの回転場所は見学場所から3km先になる。別働隊の乗用車は現場内に駐車が可能。

バスでの移動途中で妙見の崩落現場を通るようにルートを設定した。

資料作成（野崎幹事）

前日には印刷業者から田村幹事へ資料が渡るように手配した。袋詰めを印刷業者にやってもらえるよう依頼する。現場へは田村幹事が運ぶのか野崎幹事が確認をとる。

受付・検討会（渡邊幹事）

長岡駅集合以外の幹事（乗用車による別働隊も含む）は，リリックホール駐車場に9:30に集合する。

参加者，バス割りは名簿に示したとおり（資料 ，各バス担当幹事は，1号車野崎，2号車渡部（直），3号車堀田）。

備品関係はチェックリストに示したとおり（資料 ，受付用机とハンドマイクを追加した）。

会場備品の準備（前日）及び後かたづけは，山下，渡邊，佐藤，渡部（哲），大曾根，古川の6名の幹事が担当。

現地での挨拶は，早川支部長と刈屋技術専門員（新潟県）にお願いする。進行役は稲葉幹事長。早川支部長には検討会の締めの挨拶もお願いする。

その他

参加人数が定員より少なかったため，バスをの予約台数を4台から3台に減らした。金額は当初のとおり1台あたり45,000円である。

現地での看板設置費用が必要かどうか，渡邊幹事から田村幹事へ確認する。

2．その他

三重大会における書籍販売について

野崎幹事より，当日の売り上げ状況について報告があった。地震関連での研究奨励賞の受賞ということもあり，中越地震シリーズのセット（1部4,000円）が18部売れ，その他をあわせて合計で104,500円となった。販売員のアルバイト代金の請求は

まだきていない。

研究奨励賞の受賞とその報告について

稲葉幹事長より、受賞報告として会誌への投稿要請があったことが報告され、執筆を渡部副幹事長へお願いすることとなった。執筆にあたりどのような情報が必要となるのか渡部副幹事長から各幹事へ要請してもらうこととした。

また、賞金5万円の使い道について、次回までに検討することとなった。受賞したことを支部内外へアピールできるようなことへ使いたい。また、その場合はなるべく早いほうがよいとの意見が出された。

五十嵐武前副支部長への支部顧問就任要請

了承をいただいた旨の報告が早川支部長よりあった。

全国大会開催担当について

本部より提案のあった開催地決定要領に従うと、これまでの順番からみて新潟支部へ依頼が来ることが予想される。支部へのサポート体制など不明な部分が多いが、対応を検討しておく必要性が指摘された。